

令和5年度 校長より ⑮

中学校側におけるインターネット出願システム不具合の解消が報道される最中でありましたが、1月24日(水)から令和6年度入学者選抜の出願が始まりました。本校においては、初日こそ申請はありませんでしたが、受付最終日の1月31日(水)までに474名の申込みを受理させていただきました。また、2月5日(月)から7日(水)までの志願変更期間を経て、最終的には494名の志願者となりました。毎年、出願や志願変更においては事務室前に長蛇の列が出来、教職員がその対応に四苦八苦している状況にありましたが、今回の入学者選抜では中学校側に手続き上のご苦勞をおかけした分、例年と比較にならないほど静かな状況となりました。中学校の先生方の丁寧かつ入念で真摯なご対応に心から感謝申し上げます。中学校と高校の連絡を密に取りながら、初めてのWeb出願での入学者選抜を成功させたいと思います。

染み入る寒さの中、早朝より緊張した面持ちの受験生たちが集まりました。2月14日(水)は、学力検査が実施されました。体調不良による追検査希望や私立学校合格による志願取消の連絡を中学校から数件いただきましたが、例年の想定範囲内の数で混乱なく学力検査を実施することができました。本校では面接や特色検査は実施しないため、調査書以外は学力検査一本での勝負となります。受験結果が皆さんにとって満足や納得いくものとなることを願わせていただきます。

入学者選抜による生徒自宅学習期間ではありましたが、2月15日(木)に県高文連会長より本校に対して、本校の放送委員会が令和5年度神奈川県高等学校文化連盟「連盟賞」を受賞したとのお知らせがありました。これは、県内の高校生が校内外の活動を通じて文化活動の振興に大きく寄与したことが認められた個人及び団体に贈らせるもので、放送委員会は本校の教育活動をYouTube等に編集し、HP等を通じて広く県民の方々に広報を行った取り組みが高く評価されたことでこの度の受賞に至りました。放送委員会の皆さん、誠におめでとうございます。また、長期に渡り本校の魅力や特色、生徒たちの素の姿や素晴らしさを見事なまでに表現し発信していただいていることに感謝いたします。放送委員会のお陰で本校の認知度はこの数年間で確実に向上したと感じています。これからも本校でのリーダーシップの一環を担い、より一層活躍してくれることを期待しています。

2月19日付けにて、本校4名の先生方に対する令和6年3月期神奈川県教育委員会職員功績賞の決定通知が届きました。今回は、家庭科の野澤祐子先生(学習支援G)がグループ業務の見直しなどを行ったこと、地歴公民科の須山諒先生(生徒支援G)が今年度の文化祭で交通系ICカードによる決済方法を導入したこと、司書の藤田美穂先生(管理情報G)が電子図書館の導入などを行ったこと、業務アシスタントの本山良子先生が職員の業務の軽減などに貢献したことが高く評価されたものです。4名の先生方、誠におめでとうございます。これからも大船高校や生徒たちのためにどうぞよろしく願います。

令和6年2月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆